科目名 Subject	カット＆カラーⅡ Haircutting & Hair ColoringⅡ		教員名	ヘアチーム	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	実習	時間	60
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	◎	◎	◎	○
科目の概要	美容技術プログラム・ピボットポイントシステムにおける、ヘアスカルプチャー・ヘアカラーリングの基礎理論を理解し、テクニックを習得していく。また創造力を刺激し、洗練されたデザインの基盤を作り上げる。				
授業の目標	４つのベーシックフォームヘアスタイルを再確認し、2つ以上を組み合わせた応用ヘアスタイル・ヘアスカルプチャープロセスを実践し習得する。 また、カラーデザインでは、基礎知識と化学作用の知識を再確認し、更に加齢などによって起こる白髪（グレイヘア）の応用理論やテクニック、また高齢者がどのように美容を意識しているかなどの現状把握を行い、より求められるカラーデザインを行うための塗布テクニックを習得する。その理論と技術を駆使して、モデルまたはウイッグにカラーデザインを施すことができる。				
時間外学習 （予習・復習）	予習・毎回の課題についてテキストを熟読しておく。30分 予習・テキスト内の「デザインの決定」（展開図などを記入）を予測記入しておく。20分 復習・テキスト内の評価表を記入し、点数化しておくこと。20分 復習・課題の展開図などの黒板を板書し、次回に向けて内容を見返し理解を行う。30分 ※指定時間は平均的な時間を記載している。人によって時間が掛かる学生もいるだろう。時間にとらわれ過ぎず次回授業までに知識・技術が漏れないようにすることが重要です。				
教科書・教材	教科書	HAIR　SCULPTURE　PIVOT POINT　2014、教員作成資料			
	教材	なし			
	使用設備・備品	３１０教室・シャンプー室			
	参考文献	美容技術理論Ⅰ・『COLOR　DESIGN』PIVOT　POINT			
評価方法	提出物１０％、毎回の作品評価４０％、期末試験５０％				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	美容技術を学ぶにあたり、遅刻・欠席はスキルアップに支障が出る為、原則認めません。また、その為に再度デモンストレーション等の時間は設けません。授業中の私語、勝手な退出等の不適切と思われる行為を行った場合は、欠席と同等の扱いとします。				
本科目履修と関連する資格	資格名	ピボットポイント・ヘア・スカルプチャー ピボットポイント・カラーデザイン			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	レイヤー（１） 基礎理論を再確認し、トレンド・全体のヘアバランスを学ぶ	レイヤーヘアスタイルの種類と全体バランス・展開図を述べることができる。	予習：レイヤー理論（P110～117）の再熟読。30分 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書の見直し。30分
第２回	レイヤー（２） 課題４－Ｗ６を実践し、スタイル評価（A～Zまで）を受ける	レイヤースタイル（縦ライン）を行うことができるようになる。	予習：課題４－Ｗ６（P115～122）の熟読。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第３回	レイヤー（３） 課題４－Ｗ７の説明を聞き、デモンストレーションを見る	レイヤースタイル（斜め前下がり）の展開図と手順を説明できる。	予習：課題４－Ｗ７（P126～130）の熟読。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第４回	レイヤー（４） 課題４－Ｗ７を実践し、スタイル評価（A～Zまで）を受ける	レイヤースタイル（斜め前下がり）を行うことができるようになる。	予習：課題４－Ｗ７（P126～130）の再熟読・予測記入。50分 復習：授業の振り返りを行う・板書見直し。30分
第５回	レイヤー（５） 課題４－Ｗ８の説明を聞き、デモンストレーションを見る	レイヤースタイル（水平ライン）の展開図と手順を説明できる。	予習：課題４－Ｗ８（P134～139）の熟読。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第６回	レイヤー（６） 課題４－Ｗ８を実践し、スタイル評価（A～Zまで）を受ける	レイヤースタイル（水平ライン）を行うことができるようになる。	予習：課題４－Ｗ８（P134～139）の再熟読・予測記入。50分 復習：授業の振り返りを行う・板書見直し。30分
第７回	ヘアカラーリング（１） color design 理論（ゾーン・スライシング）を学ぶ	color design 基礎理論（ゾーン・スライシング）を説明することができる。	予習：アルカリカラーの既染毛塗布理論を調べまとめる。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第８回	ヘアカラーリング（２） 課題１（ゾーン・スライシング）を実践する	ゾーンパターン・スライシングの施術が行えるようになる。	予習：アルカリカラーの塗布テクニックを調べる。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第９回	ブロー（１） 基礎理論を再確認し、デンマンブラシ・ロールブラシの施術を実践する	デンマンブラシ・ロールブラシを使用したブローテクニックを行うことができる。	予習：ウイッグでのブロー練習を行っておく。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第１０回	ブロー（２） スケルトンブラシを実践し、その後、相モデルでのブローの練習を行う	スケルトンブラシを使用したブローテクニックを行うことができる。	予習：人頭モデルでのブロー練習をしておく。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第１１回	セイムレイヤー（１） 基礎理論を再確認し、トレンド・全体のヘアバランスを学ぶ	セイムレイヤーヘアスタイルの種類と全体バランス・展開図を述べることができる。	予習：セイムレイヤー理論（P142～147）の再熟読。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第１２回	セイムレイヤー（２） 課題４－Ｗ９を実践し、スタイル評価（A～Zまで）を受ける	セイムレイヤースタイル（横と縦ライン）を行うことができるようになる。	予習：課題４－Ｗ９（P115～122）の熟読。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第１３回	アドバンス（１） 基礎理論と課題ウイッグの観察方法を学ぶ	アドバンスの基礎理論を説明できる。また、展開図・手順図を作成することができる。	予習：アドバンス理論（P164～172）の再熟読。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第１４回	アドバンス（２） 課題ウイッグと同じになるようにカットできるかを学ぶ	美容の逆算思考を実施することができる	予習：展開図の書く練習をしておく。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第１５回	メンズカット（１） 基礎理論とトレンド・全体のヘアバランスを学ぶ	メンズヘアスタイルの種類と全体バランス・展開図を説明することができる。	予習：メンズカット理論（P234～240）の熟読。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１６回	メンズカット（２） 課題４－Ｗ６を実践し、スタイル評価（A～Zまで）を受ける	レイヤースタイル（縦ライン）を行うことができるようになる。	予習：課題４－Ｗ６（P115～122）の熟読。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第１７回	ヘアカラーリング（３） color design 理論（ゼロテクニック）を学ぶ	color design 基礎理論（ゼロテクニック）を説明することができる。	予習：白髪染めカラーリングの社会思潮を調べまとめる。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第１８回	ヘアカラーリング（４） 課題１（ゼロテクニック）を実践する	グレイヘア用のヘアマニキュア塗布テクニック（ゼロテクニック）を行えるようになる。	予習：ゼロテクニックの手つきを練習しておく。30分 復習：作成したウイッグを考察する。30分
第１９回	アドバンス（１） 基礎理論とトレンド・全体のヘアバランスを学ぶ	より実践的なヘアスタイルの種類と全体バランス・展開図を説明することができる。	予習：アドバンス理論（P110～117）の再熟読。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第２０回	アドバンス（２） 課題３－Ａ１を実践し、スタイル評価（A～Zまで）を受ける	アドバンススタイル（ワンレングス・オン・レイヤー：スライドカット・ノッチング）を行える。	予習：課題３－Ａ１（P186～191）の熟読。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第２１回	サロンの知識・実践（１） シャンプー剤の理論を学ぶ	シャンプー剤の内容成分を説明することができる。	予習：使用してみたいシャンプー剤を３つ探しておく。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第２２回	サロンの知識・実践（２） ヘアカラーの予行練習を実際のモデルで実践する	人頭モデルカラーリングをする際の注意事項を説明することができる。	予習：カラーリングの施術方法、手順を把握しておく。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第２３回	サロンの知識・実践（３） シャンプー＆ブローを相モデルで実践する	シャンプーからブローまでの一連の流れを行えるようになる。1回目担当者	予習：シャンプー手順の再確認と手つきの練習を行う。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第２４回	サロンの知識・実践（４） シャンプー＆ブローを相モデルで実践する	シャンプーからブローまでの一連の流れを行えるようになる。2回目担当者	予習：シャンプー手順の再確認と手つきの練習を行う。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第２５回	サロンの知識・実践（５） ヘアカラーをモデルに塗布し時間を置く	ヘアカラーを人頭に塗布できるようになる。	予習：モデルの髪質やダメージ状態を確認し資料に記入する。30分復習：授業の振り返りを行う。30分
第２６回	サロンの知識・実践（６） カラーの発色を確認し、シャンプー＆ブローを行う	ヘアカラーの発色状態を確認することができる。	予習：モデルが希望する髪色をカウンセリングしておく。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第２７回	作品制作（１） hair sculpture 作品制作を行う	自分で考えた展開図通りに作品をカットすることができる。	予習：自分で考えた展開図を作成し、カットの練習を行う。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第２８回	作品制作（２） hair sculpture 作品制作を行う	作品のブローを行い、セットすることができるようになる。	予習：各ブローブラシの使用練習をしておく。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分
第２９回	作品制作（３） color design 作品制作を行う	自分で考えた手順通りヘアカラーを行えるようになる。	予習：ヘアカラー手順を考え、イメージトレーニングをする。30分復習：授業の振り返りを行う。30分
第３０回	作品制作（４） color design 作品制作を行う	フィニッシュワークを使用し作品を仕上げることができる。	予習：完成作品をイメージし仕上げ練習をしておく。30分 復習：授業の振り返りを行う。30分